

平成20年度

第1回

(地域別研修)

中東地域

良質な牛乳生産のための  
乳牛の飼養管理

実施要領

平成20年9月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

Japan International Cooperation Agency

## 目 次

1. コース基本情報	1
2. コース目的	1
3. 到達目標	1
4. 研修プログラム	2
5. 研修員参加資格要件	2
6. 研修実施体制	3
7. 研修の評価	4
8. 研修付帯プログラム	4
9. 主な宿泊場所	5
10. その他	5

### 付属資料

付表－1 研修員の業務関連情報

付表－2 コース日程表（案）

付表－3 年度別受入実績表

## 1. コース基本情報

(1) コース名

和文：(地域別研修) 中東地域良質な牛乳生産のための乳牛の飼養管理

英文：Region Focused Training Program on “Principle and Practice of Dairy Cow Management for Milk Production with Better Quality in Middle East Countries”

(2) 受入期間

平成 20 年 9 月 23 日 (火) ～ 11 月 21 日 (金) (60 日間)

(3) 技術研修期間

平成 20 年 9 月 29 日 (月) ～ 11 月 20 日 (木) (53 日間)

(4) 定員、割当国

定 員：4 名

割当国：トルコ、シリア

## 2. コース目的

乳牛の飼養管理について改善目標の設定と改善方法の立案ができる人材が育成される。

## 3. 到達目標

- 1) 乳牛改良・繁殖管理について説明できる。
- 2) 飼料・栄養管理について説明できる。
- 3) 乳質改善について説明できる。
- 4) 暑熱管理について説明できる。
- 5) 帰国後の乳牛の飼養管理に関する活動計画を策定できる。

## 4. 研修プログラム

### (1) 研修類型：人材育成普及型

#### ア) 本邦研修実施前

「初期計画書(Inception Report)」の作成

研修の主題にかかる研修員および所属組織の課題やそれに対する現在の組織としての対策・取組みをまとめ、計画書の内容は本邦でのコース開始時に発表する。

#### イ) 本邦研修終了時

「中間計画書(Interim Report)」の作成

研修で学んだ知識や技術等を基に普及のための活動計画(案)を作成し、コース終盤に発表する。

#### ウ) 帰国後の事後活動

「最終計画書(Final Report)」の作成

研修員は帰国後、中間計画書に書かれた活動計画(案)を所属組織に報告、関係者と共有し、最終的な活動計画をまとめ、帰国後3ヶ月以内にJICA帯広に提出する。JICA帯広は同計画書を関係者と共有のうえ、次年度以降に実施される研修に内容をフィードバックし、必要に応じフォローアップを検討する。

### (2) 使用言語：英語

## 5. 研修員参加資格要件

当該コース募集要項記載の条件

- (1) 酪農分野の技術指導者、技術支援者、普及員、研究者
- (2) 経験年数3年以上の者
- (3) 大学卒あるいは同等の学力を有する者

各コース資格要件

- (1) 所定の手続により割当国政府から推薦されていること
- (2) TOEFL CBT 200点(PBT 578点)以上に相当する英語能力を有すること
- (3) 心身ともに健康なこと

- (4) 軍隊に服役していないこと

## 6. 研修実施体制

本コースは、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構帯広国際センター（以下 JICA 帯広）が計画するコースの実施に関する業務を国立大学法人帯広畜産大学に委託し、関係諸機関の協力により運営する。具体的業務分担は次のとおり。

### (1) JICA 帯広

- ア. 実施計画書作成（コース目的、到達目標、期間など）
- イ. 評価
- ウ. 実施予算の執行管理
- エ. 募集要項および実施要領等の作成
- オ. その他

### (2) 帯広畜産大学

- ア. 日程表の調整・作成
- イ. 講師、視察先等への連絡・確認
- ウ. テキスト、資料等の手配
- エ. その他

### (3) コースリーダー

研修の計画、実施、評価の全般にわたる助言等

### (4) 研修監理員

研修期間中、(財)日本国際協力センター（JICE）所属の研修監理員を配置する。

- ア. 関係者間の連絡調整
- イ. 通訳・翻訳
- ウ. その他

## 7. 研修の評価

### (1) 評価の目的

コースの到達目標（1頁参照）に基づき、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に当初目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本コースの質的改善を図る。

### (2) 評価の方法

ア. コースリーダー等による到達目標の達成度把握

イ. 研修員が提出する質問票による評価

ウ. JICAによる評価

### (3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

### (4) 改善検討会

研修員帰国後に、評価結果に基づき、JICA 帯広、コースリーダー、帯広畜産大学等が参加し、研修の目的・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度以降のコース改善に向けて対応方針を検討する。

## 8. 研修付帯プログラム

### (1) ブリーフィング

来日直後に帯広国際センター（以下 OBIC: Obihiro International Center）で実施する。JICA 業務およびコース概要説明、研修員登録、旅券・査証の有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

### (2) ジェネラルオリエンテーション

OBIC で実施し、日本の社会・歴史・文化・政治・経済・教育・行政などを紹介する。

### (3) 日本語講習

研修員の日常生活および国際交流のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として5時間の日本語講習を実施する。

### 付帯プログラム日程（予定）

日 程	内 容
9月24日（水）	ブリーフィング
9月25日（火） 午前 午後	ジェネラルオリエンテーション 講義「日本の経済」「日本の政治・行政」 講義「日本の教育」「日本の歴史・文化」
9月26日（金）	日本語講習

## 9. 主な宿泊場所

帯広国際センター（OBIC）

所在地：〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2

Tel (0155) 35-2001 Fax (0155) 35-2213

## 10. その他

### (1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

### (2) 研修員の待遇

#### ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修査証を取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

#### イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

### (3) 国際理解教育

国際理解教育の支援のため、本コースに地域の小中学校や住民との相互理解のためのプログラムが一部含まれている。

以上

付表-2

コース日程表(案)

日付	曜日	単元項目	午前	午後
9月23日	火	来日		
9月24日	水	ブリーフィング		
9月25日	木	オリエンテーション		
9月26日	金	日本語講習		
9月27日	土			
9月28日	日			
9月29日	月	ジョブレポート発表	※午前市長表敬・コースオリエンテーション	
9月30日	火	乳牛改良	コースの概要と日本の乳牛改良例の紹介(講義)	コンピュータツールの使い方(実習)
10月1日	水	乳牛改良	能力検定データの収集形質とデータ処理(講義)	データベースの利用法に関するコンピュータ実習
10月2日	木	乳牛改良	種畜の選抜法に関連する基礎的分析法(講義)	コンピュータを利用した実習(評価値の算出法)
10月3日	金	乳牛改良	種畜の交配法(講義)	コンピュータを利用した実習(近交回避プログラムについて)
10月4日	土			
10月5日	日			
10月6日	月	繁殖管理	牛の繁殖生理・人工授精(講義)	人工授精技術講習(実習)
10月7日	火	繁殖管理	畜産フィールド科学センターでの繁殖管理(実習7:00より)	獣医臨床繁殖学実習II(獣医4年)参加
10月8日	水	繁殖管理	牛の受精卵移植(講義)	全農ETセンター(上士幌)見学
10月9日	木	繁殖管理	発情周期の人為的調節(講義)	畜産試験場(新得、受精卵移植科)見学
10月10日	金	繁殖管理	酪農家(更別)繁殖検診随行	肉牛繁殖農家(池田)繁殖検診随行
10月11日	土			
10月12日	日			
10月13日	月	移動日		帯広→新ひだか町
10月14日	火	乳牛改良	家畜改良センター(視察・新ひだか町)・久保牧場(広尾町)	
10月15日	水	飼料生産	副産物の飼料化(講義)	副産物の飼料化(視察)
10月16日	木	飼料生産	飼料の貯蔵技術(講義・花田正明)	サイレージ調製(実習・花田正明)
10月17日	金	飼料生産	とうもろこしサイレージの飼料価値改善(講義・視察:北海道立畜産試験場)	
10月18日	土			
10月19日	日			
10月20日	月	乳質管理	乳牛の疾病と乳質(講義)	乳牛の疾病と乳質(実習)・搾乳実習
10月21日	火	乳質管理	乳の自主衛生管理(講義)	乳の自主衛生管理(講義)・搾乳実習
10月22日	水	乳質管理	生乳の衛生的流通(講義)	生乳の衛生的流通(実習)・搾乳実習
10月23日	木	乳質管理	生乳の細菌検査(講義)	生乳の細菌検査(実習・搾乳実習)
10月24日	金	乳質管理	衛生的な飼養環境(視察・広瀬牧場)	乳質改善の総括(討論)
10月25日	土			
10月26日	日	移動日		帯広 → 羽田 → 那覇
10月27日	月	暑熱管理	熱帯～沖縄の酪農概要、熱帯の飼料生産(講義)	琉球大学農学部附属農場見学
10月28日	火	暑熱管理	暑熱環境下での飼養管理と衛生管理(講義)	飼料生産技術(実習)
10月29日	水	暑熱管理	沖縄県の酪農経営(沖縄県南部農業改良普及センター)	沖縄県南部酪農家見学
10月30日	木	暑熱管理	沖縄県の酪農事情(県酪農協同組合)	牛乳処理施設見学
10月31日	金	暑熱管理	子牛育成技術(沖縄県家畜改良センター)	北部酪農家見学(名護泊)
11月1日	土	暑熱管理		農家見学・県畜産研究センター見学
11月2日	日	移動日		那覇 → 羽田 → 帯広
11月3日	月			
11月4日	火	共通		酪農家・乳製品工場・畜産検査センター等視察
11月5日	水	A/P検討		
11月6日	木	栄養管理	乳牛の栄養(講義・西田武弘)	乳牛の栄養(実習・西田武弘)
11月7日	金	栄養管理	飼料設計と給与方法(講義・河合正人)	飼料設計と給与方法(視察・河合正人)
11月8日	土			
11月9日	日			
11月10日	月	栄養管理		代謝プロファイルテスト(講義・実習:木田克弥・河合正人先生)
11月11日	火	栄養管理		代謝プロファイルテスト(講義・実習:木田克弥・河合正人先生)
11月12日	水	飼料生産	飼料生産計画(演習・花田正明)	サイレージの評価(実習・花田正明)・飼料生産の総括
11月13日	木	共通		各講義・実習に対する質問・確認
11月14日	金	学校訪問		
11月15日	土			
11月16日	日			
11月17日	月	活動計画	A/P発表準備	
11月18日	火	活動計画		北海道の農業政策と技術普及システム(講義・視察:十勝支庁・農業改良普及センター)
11月19日	水	活動計画	北海道の農業教育(視察:帯広農業高校)	A/P発表準備
11月20日	木	A/P発表		
11月21日	金	帰国		



## 年度別受入実績表

### 1. 応募／選定（受入）人数

	平成20年度	累計
応募数	4名	4名
受入数	4名	4名

### 2. 国別受入人数

○男性 ●女性

国名	平成20年度	累計
アフガニスタン		
エジプト		
イスラエル		
レバノン		
オマーン		
スーダン		
トルコ	○○	2名
アルジェリア		
イラン		
ヨルダン		
リビア		
カタール		
シリア	○○	2名
アラブ首長国連邦		
バーレーン		
イラク		
クウェート		
モロッコ		
サウジアラビア		
チュニジア		
イエメン		
合計	2カ国 4名	2カ国 4名



独立行政法人国際協力機構 帯広国際センター  
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2  
TEL:0155-35-1210 FAX:0155-35-1250  
ホームページ : [www.jica.go.jp/obihiro/](http://www.jica.go.jp/obihiro/)  
電子メール: [jicaobic@jica.go.jp](mailto:jicaobic@jica.go.jp)